

小型純水製造装置 ピュアポート PP-102

OPERATION MANUAL

取扱説明書

このたびは、当社製品をお求めいただき誠にありがとうございます。

- この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方法について示しています。
- ご使用前に、この取扱説明書と添付の保証書を最後までお読みのうえ、安全に正しくお使いください。
- お読みになった後は、いつでも取り出せるところへ保証書とともに必ず保管してください。

目次

1	ご使用の前に.....	3
1.1	取扱説明書について.....	3
1.2	付属品の確認.....	3
2	安全上のご注意.....	4
2.1	使用者について〔重要〕.....	4
2.2	絵表示について.....	4
2.3	警告・指示事項.....	5
3	本製品について.....	10
4	各部の名称.....	11
4.1	小型純水製造装置本体.....	11
4.2	パネルオープン時.....	12
4.3	ハンドシャワー.....	13
4.4	CLEAN ランプについて.....	13
5	使用方法.....	14
5.1	作業の流れ.....	14
5.2	セッティング（使用前の準備）.....	14
5.2.1	本体の設置.....	14
5.2.2	内部部品の取り付け.....	15
5.2.3	水道栓との接続.....	18
5.3	採水方法.....	19
5.4	排水方法.....	20
5.5	消耗部品の交換.....	21
5.5.1	消耗部品の交換時期.....	21
5.5.2	消耗部品の交換.....	22
5.6	スペアパーツの交換.....	27
6	トラブルシューティング.....	28
7	点検とお手入れ.....	29
8	主な仕様.....	30
9	消耗部品とスペアパーツ.....	30
10	保証書と修理について.....	31
11	お問い合わせ.....	31

1 ご使用の前に



- 本製品を使用する前に、必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- この取扱説明書は、手近な場所に大切に保管し、いつでも取り出せるようにしてください。
- 本書の安全に関する指示は、内容をご理解のうえ、必ず従ってください。
- 製品本来の使用方法および取扱説明書に記載の使用方法をお守りください。

以上の指示を必ず厳守してください。
指示に従わない場合は、ケガや事故の恐れがあります。

1.1 取扱説明書について

- 取扱説明書の内容は、製品の改良などにより、予告なく変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載もれがあった場合は、お手数ですが、当社までご連絡ください。
- 本書の著作権は柴田科学株式会社に帰属します。
本書の一部または全部を、柴田科学株式会社からの書面による事前の承諾を得ることなく複写複製（コピー）・転載・改変することを禁じます。

1.2 付属品の確認

ご使用前に、内容物を確認してください。

☐ 小型純水製造装置本体	1 台
☐ イオン交換樹脂	1 個
☐ 活性炭カートリッジ	1 個
☐ 中空糸フィルター	1 個
☐ 接続プラグ	2 個
☐ ピンチコック	1 個
☐ 給水ホース（取付金具付）	1 組
☐ ホースバンド	1 個
☐ ハンドシャワー切替ノズル（1 穴、3 穴、16 穴※）	各 1 個
※16 穴ノズルは、工場出荷時に本体へ取り付けてあります。	
☐ コンセントアダプター	1 個
☐ 保証書	1 部
☐ 合格证	1 部
☐ 取扱説明書（本書）	1 部

- 内容物に破損もしくは欠品があった場合は、お買い上げ販売店までご連絡ください。

2 安全上のご注意

この取扱説明書に示す警告・指示事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な事項ですので、ご使用前によく読んで内容を理解し、必ずお守りください。

2.1 使用者について [重要]

本製品は、専門的技術、訓練、経験によって、本製品の操作上起こりえる危険性を理解している人のみが操作してください。訓練を受けていない人、現在訓練中の人が操作する場合は、訓練を受けた人や専門的経験を有する人の十分な指示のもとに操作してください。

この取扱説明書は、本製品の操作上起こりえる危険性を理解している人が操作することを前提に作成しています。

2.2 絵表示について

この取扱説明書では、警告・指示事項に各種の絵表示を使用しています。その表示の意味は次の通りです。これらの内容をよく理解して、本書をお読みください。

危害・損害の程度とその表示

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定されること、また物的損害の発生が想定されることを示しています。

絵表示の例

 接触禁止	記号 ⊘ は、禁止の行為であることを告げるものです。具体的な内容は、記号中や近くの文章で表しています。 左の表示は「接触禁止」の表示です。
 電源プラグを抜く	記号 ● は、必ず実行していただきたい内容を告げるものです。具体的な内容は、記号の中や近くの文章で表しています。 左の表示は「必ず電源プラグを抜いてほしい」という表示です。

2.3 警告・指示事項

警告



禁止

電源コードを熱器具等で高温になるところに近づけない。

守らない場合、火災や漏電などの原因となります。



禁止

濡れた手で電源プラグをコンセントから抜いたり、差し込んだりしない。

守らない場合、感電などの原因となります。



禁止

電源コードの上に物を載せない。

守らない場合、火災や漏電・感電などの原因となります。



禁止

電源コードが傷んでいるときは使用しない。

守らない場合、火災や漏電・感電などの原因となります。



禁止

電源コードを無理に曲げたり、束ねたりした状態で使用しない。

守らない場合、火災や機器破損などの原因となります。



禁止

電源コードを加工したり、傷つけたりしない。

守らない場合、火災や漏電・感電などの原因となります。



強制

仕様以外の電源を使用しない。

守らない場合、火災や機器破損などの原因となります。



アースを
接地する

アースを必ず接地してから、本製品を使用する。

守らない場合、漏電・感電、機器破損などの原因となります。

警告



電源プラグ
を抜く

煙や異臭が発生したら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く。

異常な状態での使用継続は、火災などの恐れがあります。



電源プラグ
を抜く

本体内で水漏れしたら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く。

そのまま使用すると、火災や漏電・感電などの恐れがあります。



電源プラグ
を抜く

消耗部品交換や清掃をするときは、水道栓を閉じ、本体内の水を排水して、電源プラグをコンセントから抜く。

守らない場合、感電や漏電などの原因となります。



電源プラグ
を抜く

本体を移動するときは、水道栓を閉じ、本体内の水を排出して、電源プラグをコンセントから抜く。

守らない場合、火災や漏電・感電などの恐れがあります。



電源プラグ
を抜く

運転を終えるときは、電源プラグをコンセントから抜く。

守らない場合、感電・漏電などの原因となることがあります。



電源プラグ
を抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜く。

守らない場合、火災や漏電・感電などの原因となります。



接触禁止

雷が鳴り出したら、本体や電源コード、コンセントに近寄らない。

守らない場合、ケガや感電などの恐れがあります。



強制

使用前に、電源コードの被覆の傷などの有無を確認する。

異常な状態での使用は、火災や感電などの原因となります。

警告



禁止

本製品を傾斜している場所や不安定な場所に設置しない。

守らない場合、ケガや機器破損、事故などの原因となります。



禁止

本製品を湿気やほこりの多い場所、周囲に通気口がない場所に設置しない。

守らない場合、火災や漏電、機器破損などの原因となります。



禁止

本製品を周囲温度 5 ～ 35℃ 以外の場所で使用しない。

守らない場合、火災や機器破損などの原因となります。



禁止

本製品を可燃性や引火性の物の近くで使用しない。

本製品は防爆仕様ではありませんので、守らない場合、火災や爆発などの原因となり、非常に危険です。



禁止

本製品を子供の手が届くところに設置しない。

守らない場合、ケガや感電などの恐れがあります。



禁止

本体に水や薬品をかけたりしない。

守らない場合、ケガや感電、機器破損、または火災などの原因となります。



禁止

濡れた手で製品に触れたり、操作などをおこなわない。

守らない場合、感電などの恐れがあります。



禁止

本体の内部に異物や指を入れない。

守らない場合、ケガや感電、機器破損、または火災などの原因となります。

警告



接触禁止

制御基板部には絶対に触れない。

守らない場合、ケガや感電などの原因となります。



分解禁止

使用者ご自身で絶対に分解・修理・改造をしない。

守らない場合、機器破損だけでなく、感電や火災などの原因となることがあります。

注意



強制

使用しないときは、必ず水道栓を閉じ、本体内の水を排出する。

守らない場合、漏水事故などの原因となります。



強制

本体に給水ホースを接続するときは、外れないよう、ホースバンドを使って締め付ける。

守らない場合、漏水事故などの原因となります。



強制

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

守らない場合、感電や漏電などの原因となります。



強制

本体内は定期的に清掃する。

守らない場合、性能低下だけでなく、機器破損などの原因となります。

注意



強制

活性炭カートリッジと中空糸フィルターは使用量にかかわらず、6カ月に一度交換する。

守らない場合、性能が低下するとともに、用途を満たさない原因となります。



強制

長時間使用しなかった場合は、消耗部品を新品に交換してから再使用する。

守らない場合、性能が低下するとともに、用途を満たさない原因となります。



禁止

本製品を直射日光の当たる場所や高温になる場所に設置しない。

守らない場合、機器破損などの原因となります。



禁止

本製品の上に他の物を載せない。

守らない場合、事故や機器破損などの原因となります。



禁止

本製品に振動や打撃などの衝撃を加えない。

守らない場合、機器破損などの原因となります。



禁止

本製品を有機溶剤や表面を痛める薬品で拭かない。

守らない場合、機器破損などの原因となります。



この項以外にも、警告や指示事項を表示していますので、本製品をご使用になる前に、よく読んで内容をご理解ください。

3 本製品について

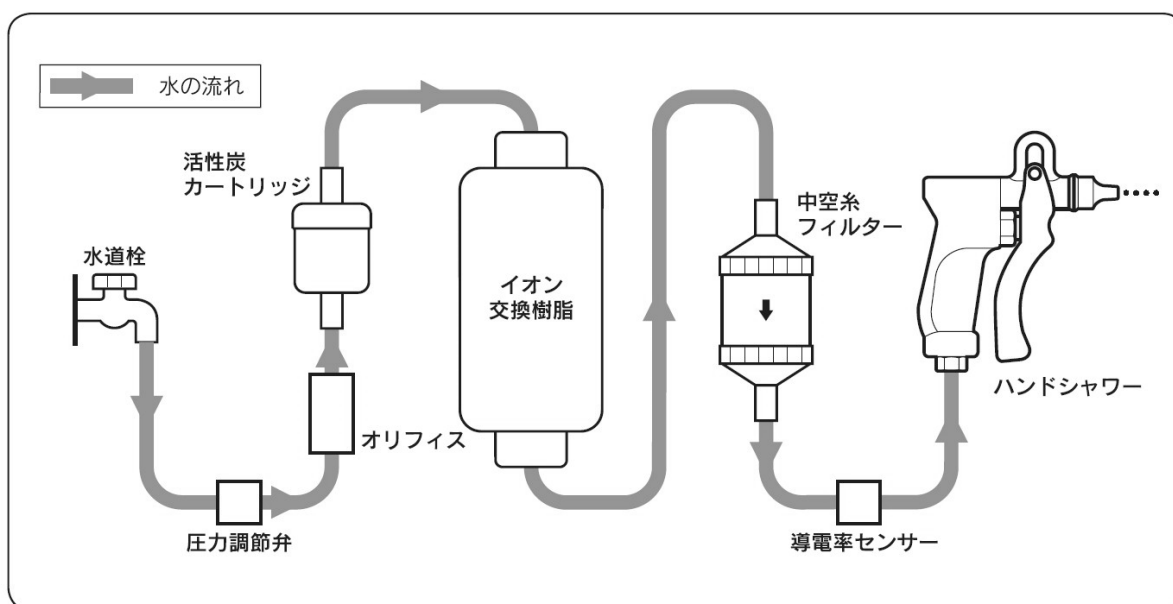
本製品は、イオン交換樹脂に加え、 $0.1\mu\text{m}$ の中空糸フィルターを採用した小型の純水製造装置です。水道の通水圧だけで除菌・除粒子性に優れたイオン交換水を採取することができます。

採水口には「ハンドシャワー」を標準装備し、通常の採水スタイルのほか、器具洗浄にも使いやすさを追求しました。

消耗部品であるイオン交換樹脂の交換時期は、CLEAN ランプでお知らせします。

前モデルの PP-101 に比べ、スパイラルホースごとハンドシャワーを本体から取り外せるようになったため、他の装置への接続など使用用途を増やすことができます。

■構造の概略



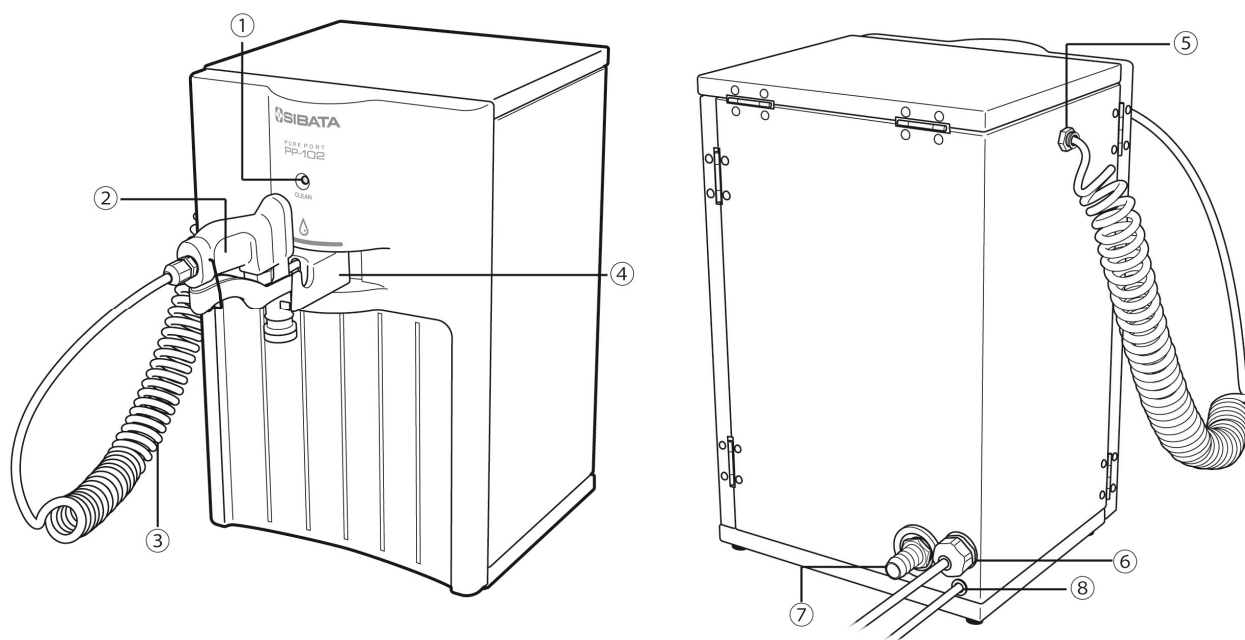
- ① 原水（水道水）が、圧力調節弁で一定圧力（ 0.15MPa ）以下に調整され、さらにオリフィスを通過することにより、一定流量（ $0.5\text{L}/\text{min}$ ）となります。

●原水圧力が低い場合（ 0.15MPa 以下）では、既定の流量を採取することはできません。

- ② 一定流量に調整された原水は、活性炭カートリッジへ導かれ、その後イオン交換樹脂、中空糸フィルターを通過して、ハンドシャワーから採水されます。
- ③ 中空糸フィルター通過後の処理水を導電率センサーで測定し、水質をフロントパネルの CLEAN ランプに表示します。

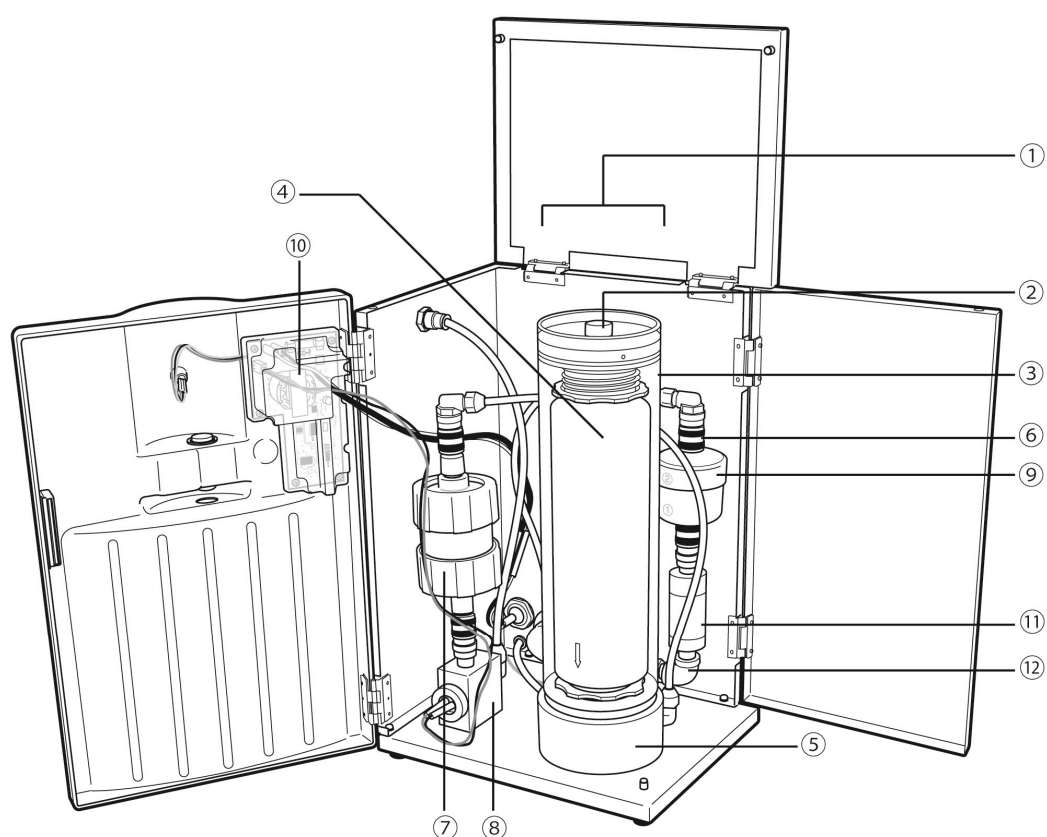
4 各部の名称

4.1 小型純水製造装置本体



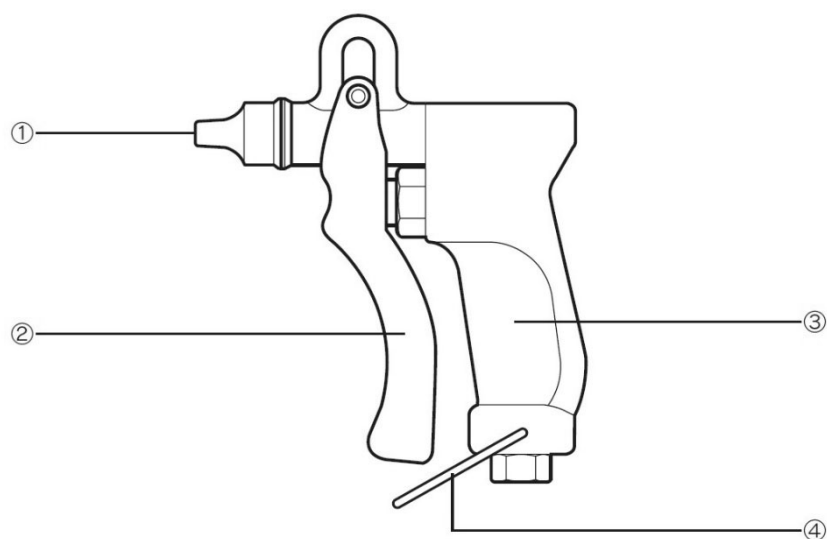
①	CLEAN ランプ	イオン交換樹脂の交換時期を知らせるランプです。
②	ハンドシャワー	取り外しのできる採水ユニットです。手に持ちやすい形状になっています。
③	スパイラルホース	伸縮性のある配水管です。
④	シャワー用フック	ハンドシャワーをかけるためのフックです。90° の範囲で可動します。
⑤	ホース継ぎ手	スパイラルホースごとハンドシャワーの交換が可能です。
⑥	電源コード	電源コンセントから本体へ電源を供給するためのコードです。
⑦	ノズル	給水ホースを接続するためのノズルです。
⑧	排水ホース	本体内の水を排水する際に使用します。

4.2 パネルオープン時



①	樹脂筒	イオン交換樹脂を収納する筒です。
②	エア抜きプラグ	樹脂筒内の空気を抜く際に使用します。
③	樹脂カートリッジケース	樹脂筒のキャップ側の部品です。
④	イオン交換樹脂	イオンを吸着交換する働きをもつ、不溶性の合成樹脂です。
⑤	樹脂カートリッジベース	イオン交換樹脂を取り付けるための部品です。
⑥	ジョイントソケット	脱着が容易なジョイントで、この他の部分にも使用しています。
⑦	中空糸フィルター	さびや雑菌類などの懸濁物質を除去します。
⑧	センサーボックス	導電率センサーを収納しています。
⑨	活性炭カートリッジ	液体中の有機物、残留塩素などを除去します。
⑩	制御基板	精製した純水の状態を CLEAN ランプに表示します。
⑪	オリフィス	採水量を一定流量（0.5L/min）に調整します。
⑫	圧力調節弁	水圧を一定圧力（0.15MPa 以下）に調整します。

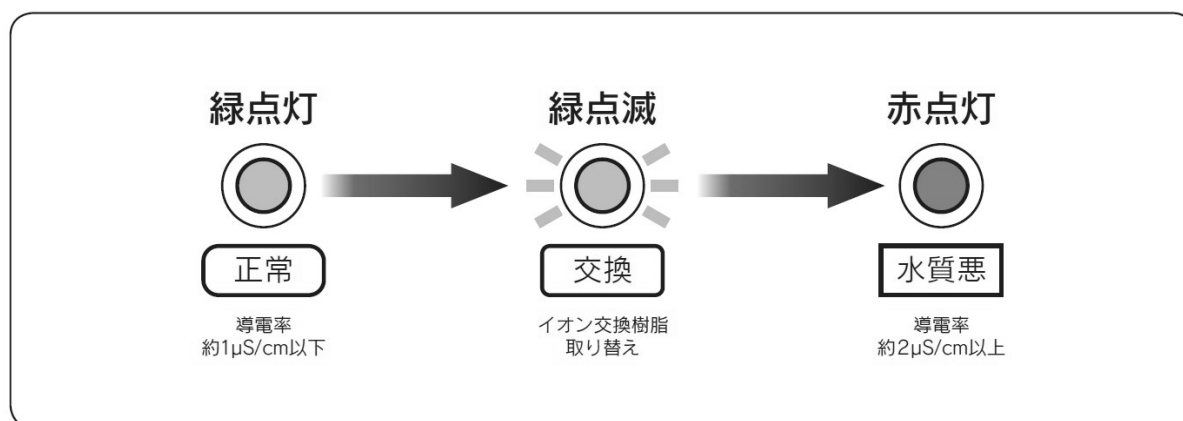
4.3 ハンドシャワー



①	採水口	本製品で精製した純水の噴出口です。付属の交換ノズルで水流が変えられます。
②	採水レバー	レバーを引くと、採水口から純水が噴出します。
③	グリップ	取り外して使用するときは、ここを持って操作します。
④	採水レバー固定金具	この金具で採水レバーを固定すると、連続的に採水できます。

4.4 CLEAN ランプについて

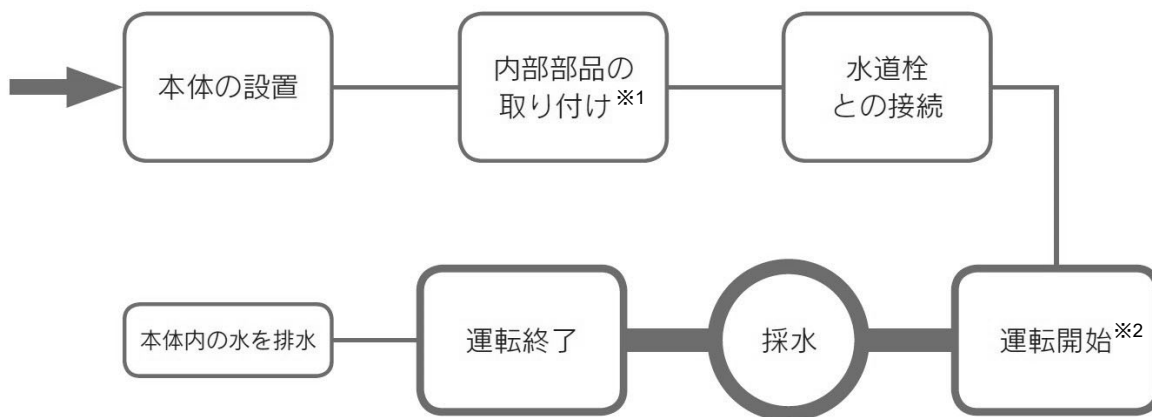
内蔵の導電率センサーにより、イオン交換樹脂の交換時期を CLEAN ランプで表示します。
使用中にランプが緑色の点滅を始めたら、イオン交換樹脂を取り替えてください。



5 使用方法

5.1 作業の流れ

本製品を使用する際の主な作業の流れは、次のようになっています。



※1 本製品のご購入時には、汚染防止のため、本体内に取り付けしていない部品（イオン交換樹脂、活性炭カートリッジ、中空糸フィルター）があります。本製品を使用するには、まずこれらの部品を取り付ける必要があります。

※2 本製品購入後初めて使用する場合、または長期間使用していなかった場合は、ランプが緑色になってからさらに5分間通水してください。

5.2 セッティング（使用前の準備）

「安全上のご注意」をよく読んで、セッティングをおこなってください。



警告

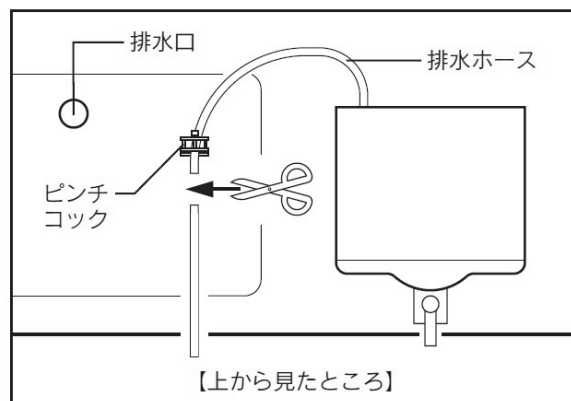
本製品を設置するときは、設置条件を順守する。

守らない場合、ケガや事故、機器破損などの恐れがあります。

5.2.1 本体の設置

- ① 本体を、水道栓と排水口の近くで、平らな安定した場所に設置します。
- ② 排水ホースを、排水口まで折り曲げることがない長さに切ってください。ホースの先は、付属のピンチコックで留めます。

●排水ホースは、イオン交換樹脂等、消耗部品や部品を交換する際に使用しますので、その時以外は適当なところに巻き取っておいてください。



5.2.2 内部部品の取り付け

本体のパネル（前面、上面、右側面の順で）を開いて、内部部品を取り付けます。取り付けが完了したら、パネルを閉じてください。



警告

本体内部の制御基板には絶対触れない。

守らない場合、ケガや感電などの原因となります。



注意

イオン交換樹脂のアルミ袋は取り付けまで開封しない。

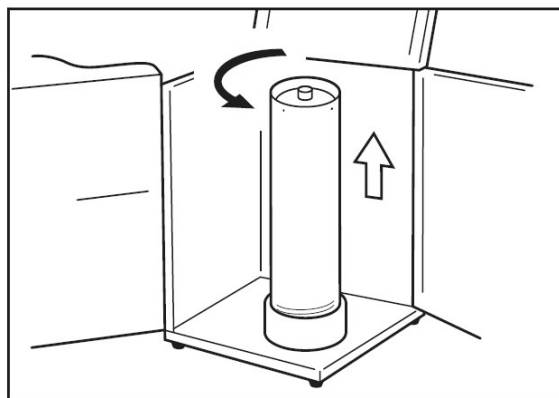
守らない場合、性能が低下するとともに、用途を満たさない原因となります。

イオン交換樹脂の取り付け

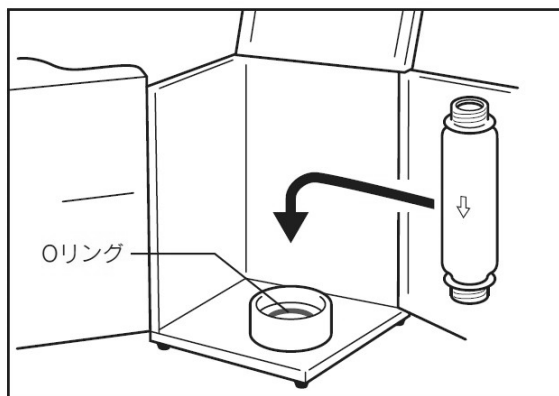
- ① イオン交換樹脂を樹脂筒の中へ組み込みます。
樹脂カートリッジケースを反時計方向に回して、取り外してください。



樹脂カートリッジケースは、ねじ口部が上になるように置いてください。

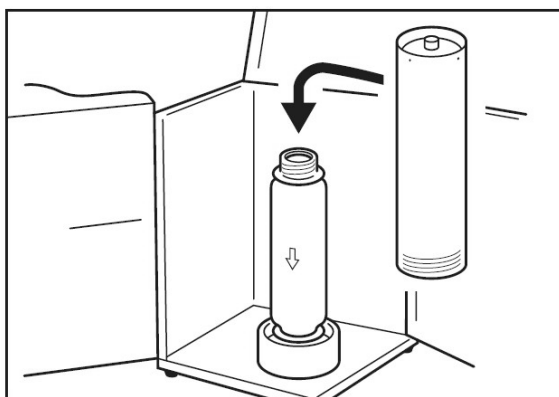


- ② 樹脂カートリッジベースの溝に O リングが入っていることを確認した後、イオン交換樹脂を矢印が下向き（↓）になるように、樹脂カートリッジベースにまっすぐ時計方向へねじ込んでください。



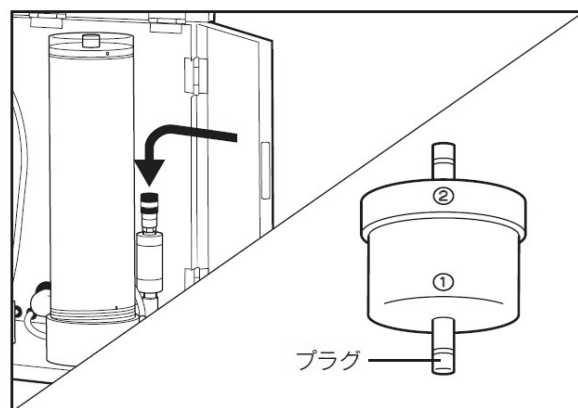
- ③ 樹脂カートリッジケースをイオン交換樹脂にかぶせ、樹脂カートリッジベースに時計方向へ回して取り付けてください。

これでイオン交換樹脂の取り付けは完了です。

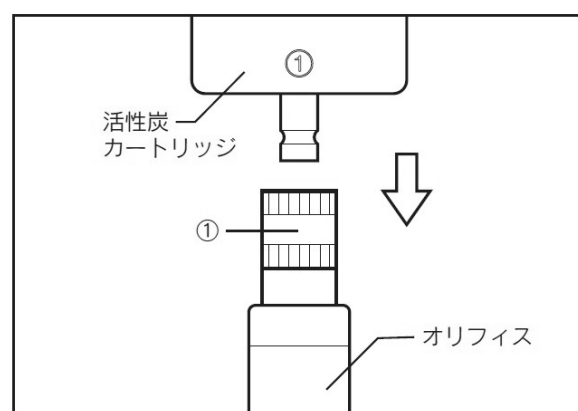


活性炭カートリッジの取り付け

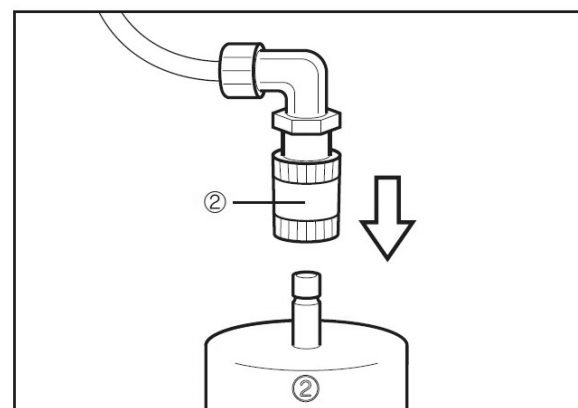
- ① 活性炭カートリッジをオリフィスの上に取り付けます。
このとき、カートリッジの上下各部分に付けられている番号「①、②」を確認してください。



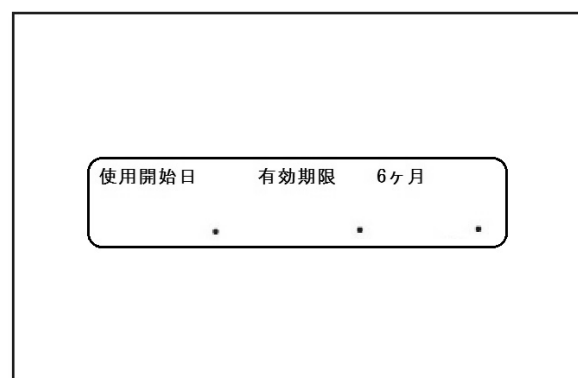
- ② 活性炭カートリッジの下側のプラグ①を、オリフィスの上に、ジョイントソケット①が「カチッ」と音がするまで差し込みます。



- ③ 活性炭カートリッジの上側のプラグ②に、樹脂筒の左下から出ているチューブ(排水側と逆のチューブ)の先のジョイントソケット②を「カチッ」と音がするまで差し込みます。

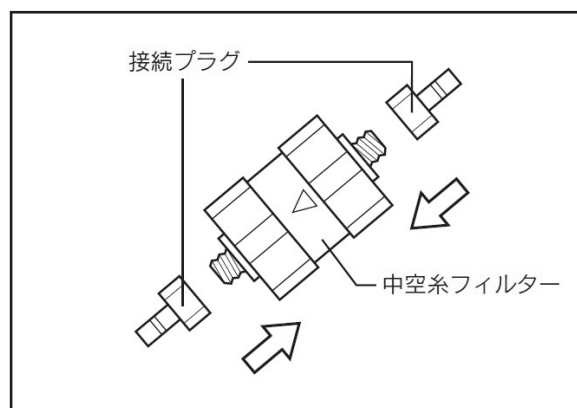


- ④ 活性炭カートリッジには、交換時期の目安のためのシールが貼り付けてあります。シールに使用開始日を記入してください。
これで、活性炭カートリッジの取り付けは完了です。

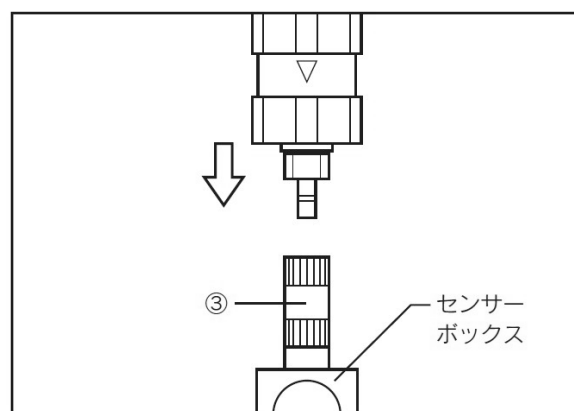


中空糸フィルターの取り付け

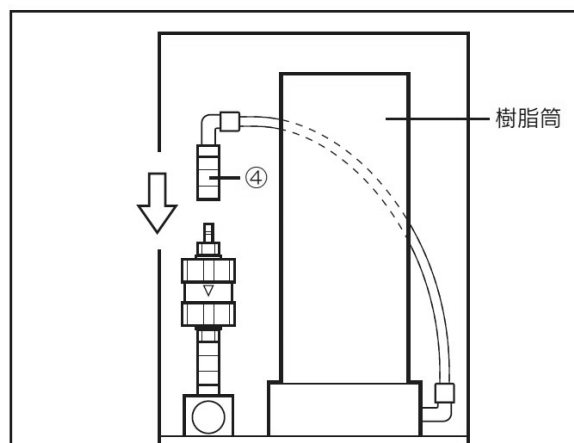
- ① 中空糸フィルターと接続プラグ 2 個を用意し（接続プラグの内側に O リングが入っていることを確認して）、中空糸フィルターの下にしっかりと取り付けてください。



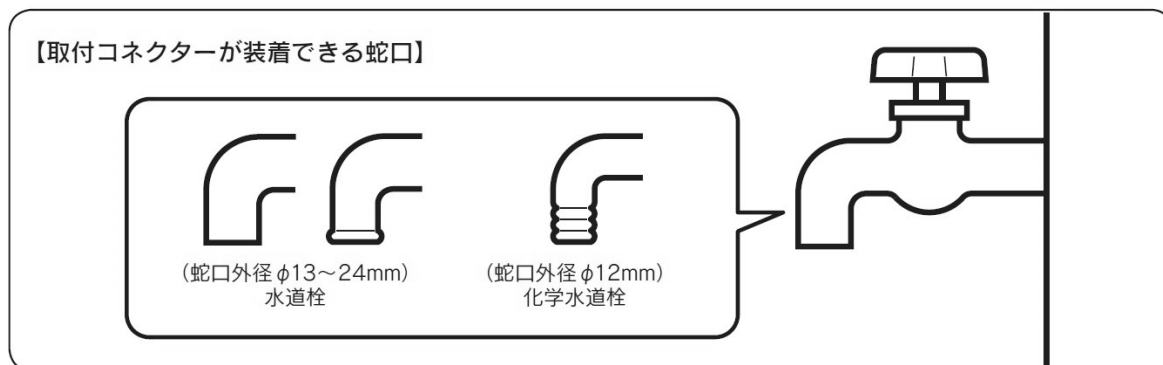
- ② 中空糸フィルターを矢印が下向き（▽）になるように取り付けます。
センサーボックスの上のジョイントソケット③に、中空糸フィルターの下側の接続プラグを「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



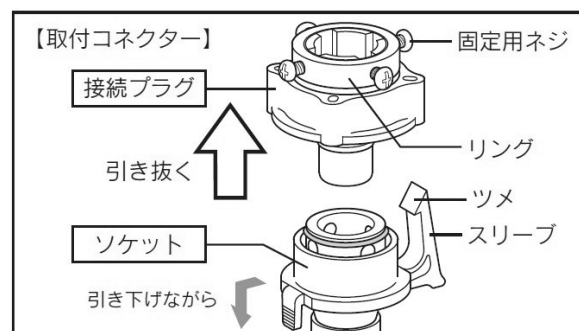
- ③ 中空糸フィルターの上側の接続プラグに、樹脂筒の右下から出ているチューブの先のジョイントソケット④を「カチッ」と音がするまで差し込みます。
これで、中空糸フィルターの取り付けは完了です。



5.2.3 水道栓との接続



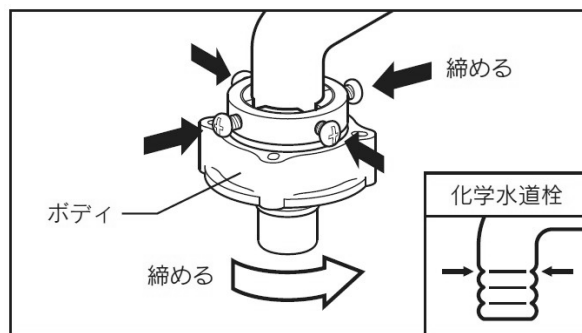
- ① 給水ホース先端についている取付コネクタのツメを外しながら、スリーブを下方方向にスライドさせて、ソケットから接続プラグを上方向に取り外します。
次に接続プラグのリングに付いている固定用ネジ（4本）を、ドライバーを使い緩めます。



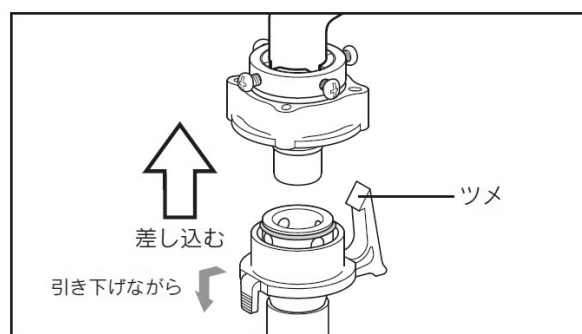
- ② 蛇口に、接続プラグのリング内のパッキン（黒色）を押し付けながら、固定用ネジ（4本）を均等に締め付け、次にボディ部分を図のように回してリングを締め付けます。



化学水道栓の場合は、蛇口の一番上の溝に固定用ネジがくるようにして取り付けてください。

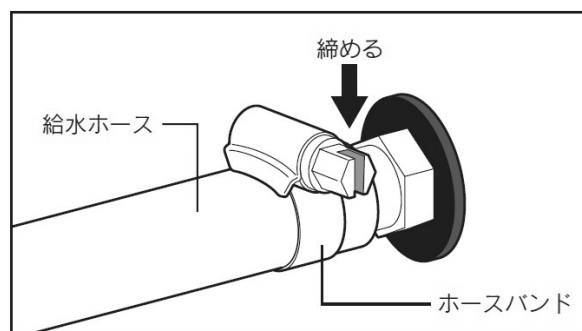


- ③ ソケットのスリーブを下方方向にスライドさせたまま、接続プラグをソケットに差し込みます。スリーブのツメが接続プラグにかかったら、スリーブをスライドさせている指を離してください。



- ④ 給水ホースを本体背面のノズルに接続します。給水ホースに付属のホースバンドを通し、ホースをノズルに奥まで差し込んでください。その後、マイナスドライバー等を使用し、ホースバンドを締めてください。使用中不意に外れたりしないように、しっかり締め付けてください。

これで、水道栓との接続は完了です。

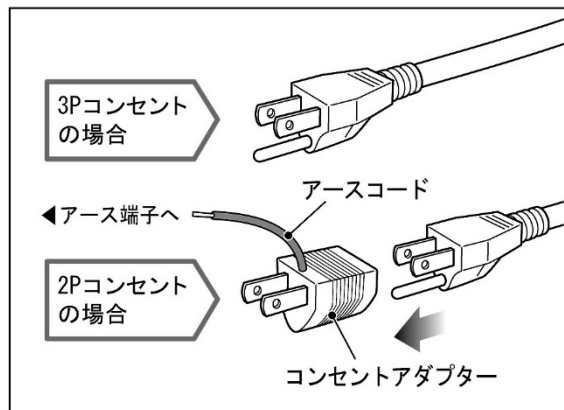


5.3 採水方法

「安全上のご注意」をよく読んでから、操作をおこなってください。

なお、前回の使用から長期間経過している場合には、性能保持のため、イオン交換樹脂、活性炭カートリッジ、中空糸フィルターを新品に交換してからご使用ください。

- ① セッティングが完了していることを確認し、電源プラグを AC100V アース付き 3P コンセントに接続してください（電源プラグを接続すると、CLEAN ランプが緑色に点灯します）。アース付き 3P コンセントがない場合は、付属のコンセントアダプターを使用して、2P コンセントに接続します。このとき、アース線を必ずアース端子に接続してください。

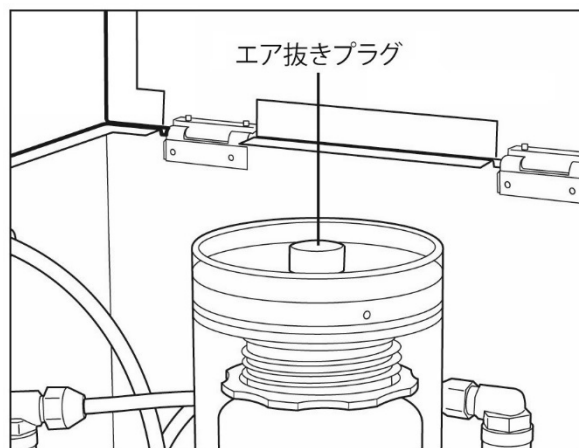


警告

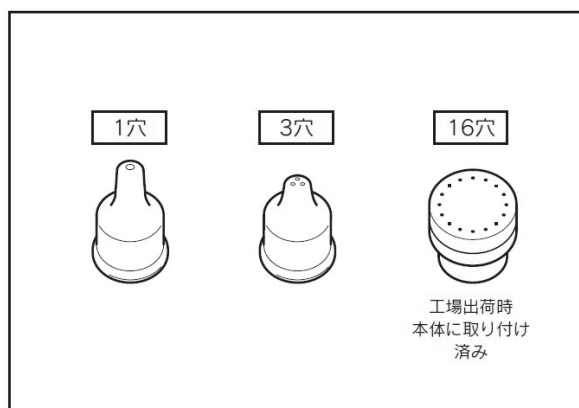
電源プラグをコンセントに接続するときは、必ずアースを接地する。
守らない場合、漏電や感電などの原因となります。

- ② 水道栓を開きます。

次に本体のパネルを開き、樹脂カートリッジケース上部のエア抜きプラグを緩めてください。ケース内が水で満たされ、エアが抜けたら、エア抜きプラグを閉めます。あふれた水は拭き取ってください。



- ③ ハンドシャワーの採水口に、付属している 3 種類のノズルの中から、用途に合ったものを選択して取り付けます。



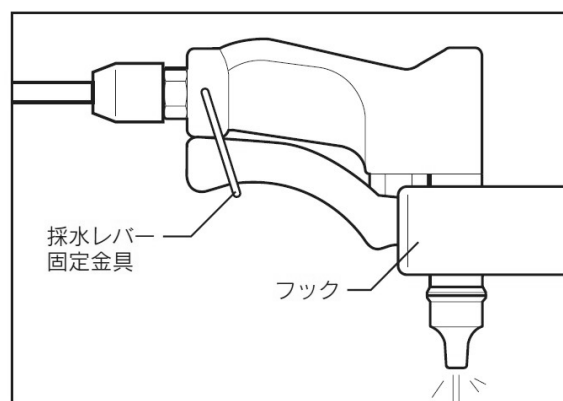
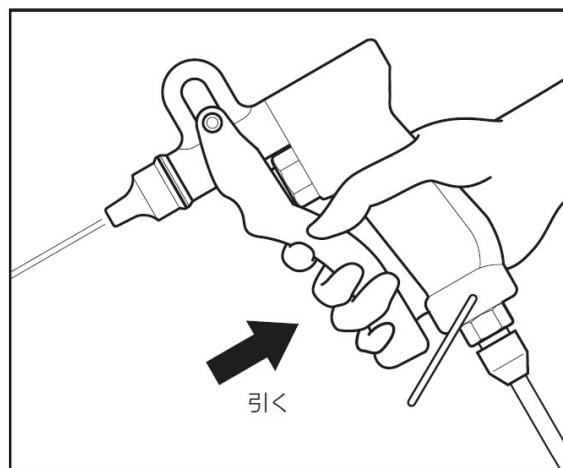
- ④ 水質が安定するまで通水します。採水口から出る水が排水できる位置に、ハンドシャワーを移動します。ハンドシャワーの採水レバーを引くと、採水ができます（レバーを離すと、水の噴出が止まります）。CLEAN ランプが緑色になるまで通水してください。



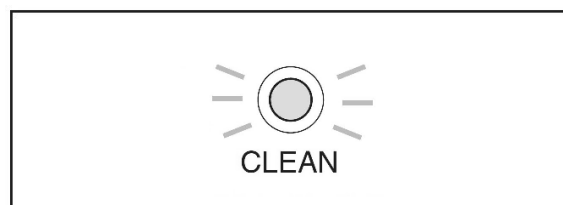
本製品購入後初めて使用する場合、または長期間使用していなかった場合は、ランプが緑色になっても、さらに 5 分間通水してください。

採水レバー固定金具を使用すると、連続採水が可能ですので、本体のフックなどに取り付けたままでも採水ができます。

- フックは、90° の範囲で可動します。採水しやすい位置に調節してください。



- ⑤ CLEAN ランプが緑色になったら、採水を開始してください。



5.4 排水方法

「安全上のご注意」をよく読んで、操作をおこなってください。

採水を終了した際、また、消耗部品の交換をおこなう際には、以下の手順に従って、本体内に残っている水を排水してください。



使用しないときは、水道栓を閉めて、排水する。

守らない場合、水漏れや機器破損などの原因となります。

- ① 水道栓を閉めます。
- ② ハンドシャワーの採水レバーを水が出なくなるまで握ってください。
- ③ 排水ホースのピンチコックを開けます。
- ④ 樹脂カートリッジケース上部のエア抜きプラグを緩めてください。製品内の水の排水が始まります。
- ⑤ 排水ホースから水が出ていないことを確認後、電源プラグをコンセントから抜き、排水を終了してください。

5.5 消耗部品の交換

本製品に使用しているイオン交換樹脂、活性炭カートリッジ、中空糸フィルターは、採水などによって徐々に消耗するため、交換する必要があります。交換時期がきたら、部品の交換をおこなってください。部品交換をするときは、交換前に必ず水道栓を閉め、本体内の水を排水して、電源プラグをコンセントから抜きます（このとき、本体内部の制御基板には絶対に触れないでください）。



警告

消耗部品を交換する前に、水道栓を閉め、本体内の水を排水して、電源プラグをコンセントから抜く。

守らない場合、水漏れや機器破損などの原因となります。



警告

本体内部の制御基板には絶対に触れない。

守らない場合、ケガや感電などの原因となります。

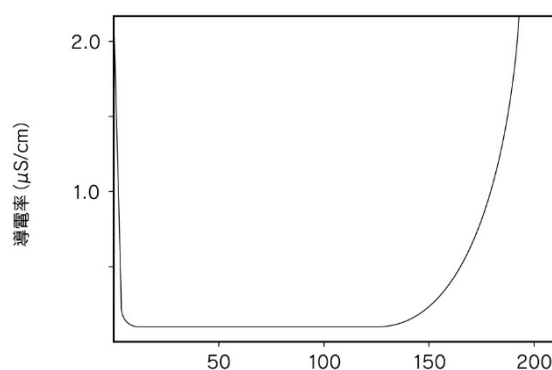
5.5.1 消耗部品の交換時期

各消耗部品の交換時期の目安は、次の通りです。なお、活性炭カートリッジと中空糸フィルターは、使用量にかかわらず、6 カ月に一度、定期的に交換してください。

消耗部品	交換時期の目安	処理能力※
イオン交換樹脂	CLEAN ランプが緑色に点灯しない（緑色の点滅または赤色の点灯のまま）。	約 190L （原水…200 μ S/cm の場合）
活性炭カートリッジ	使用開始から 6 カ月、またはイオン交換樹脂約 30 本分。	流量が減少し始めるまで 約 7000L （原水…東京都の水道水の場合）
中空糸フィルター	使用開始から 6 カ月、または 6 カ月以前でも流量が少なくなったとき。	流量が 0.5 → 0.4L/min に減少するまで 約 2500L

※処理能力は原水の状況により異なります。

【測定例】イオン交換樹脂の通水量と導電率の関係



通水量 (L)

原水：導電率 230 μ S/cm
採水量：0.5L/min

5.5.2 消耗部品の交換

本体のパネル（前面、上面、右側面の順で）を開いて、消耗部品を交換します。交換の際には、各部品内に残っている水が滴る場合がありますので、基板やコード等に水がかからないよう十分に注意してください。交換が完了したら、パネルを閉じてください。



警告

消耗部品を交換する前に、水道栓を閉め、本体内の水を排水して、電源プラグをコンセントから抜く。

守らない場合、水漏れや機器破損などの原因となります。



注意

イオン交換樹脂のアルミ袋は取り付けまで開封しない。

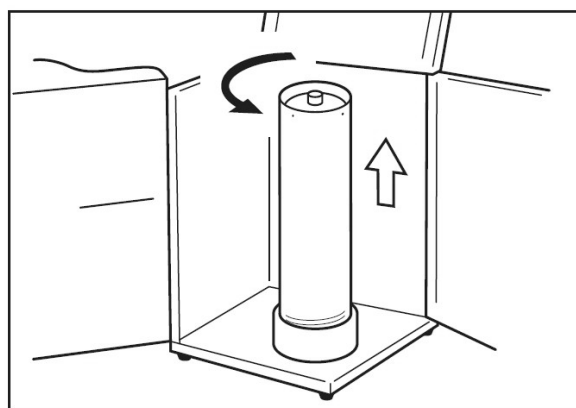
守らない場合、性能が低下するとともに、用途を満たさない原因となります。

イオン交換樹脂の交換

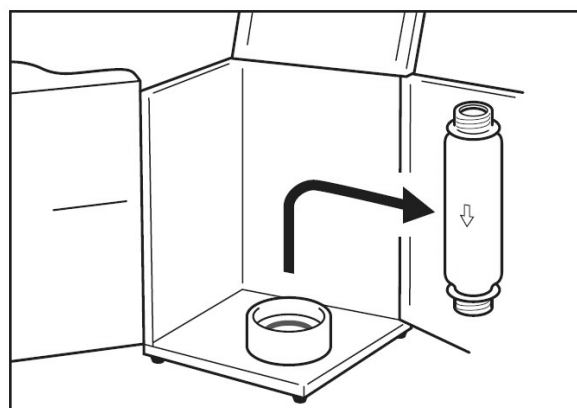
- ① 樹脂カートリッジケースを反時計方向に回して、取り外してください。



樹脂カートリッジケースは、ねじ口部が上になるように置いてください。



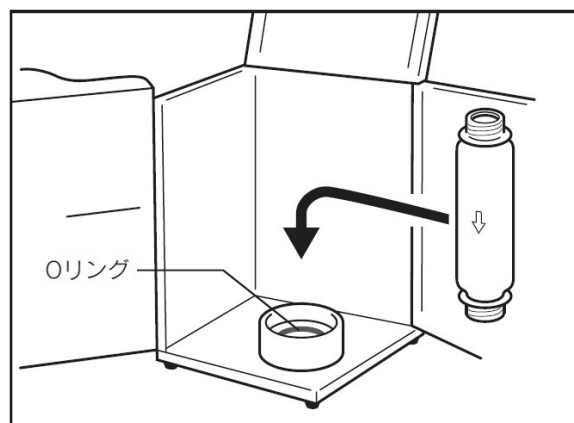
- ② 樹脂カートリッジベースから、古いイオン交換樹脂を取り外してください。



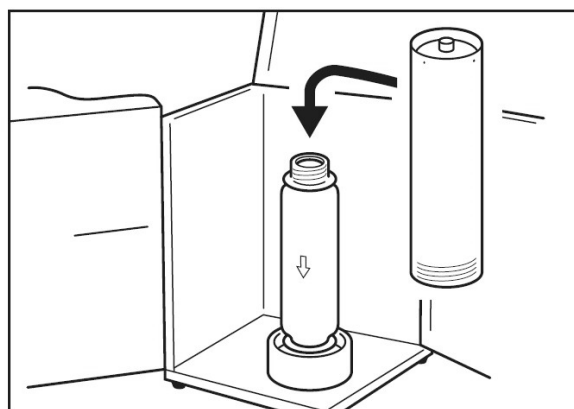
- ③ 樹脂カートリッジベースの溝にOリングが入っていることを確認した後、新しいイオン交換樹脂を矢印が下向き(↓)になるように、樹脂カートリッジベースに時計方向へまっすぐねじ込んでください。



Oリングにゴミなどが付着していたり、イオン交換樹脂のねじ込みが緩いと、処理水に原水が混入する恐れがあります。作業の際には、Oリングの汚れを取り除き、イオン交換樹脂をしっかりとねじ込んでください。



- ④ 樹脂カートリッジケースをイオン交換樹脂にかぶせ、樹脂カートリッジベースに時計方向へ回して取り付けてください。

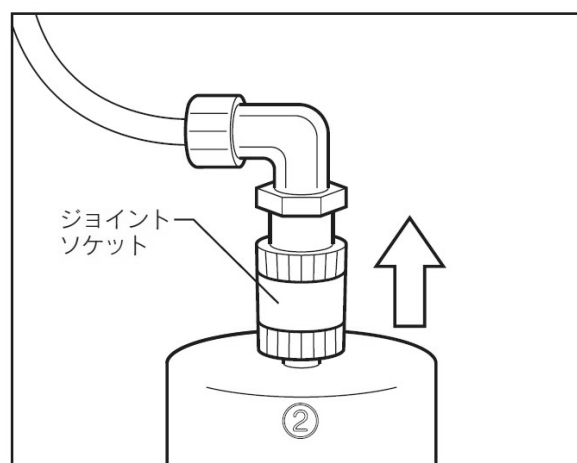


- ⑤ 排水ホースのピンチコックを閉じます。

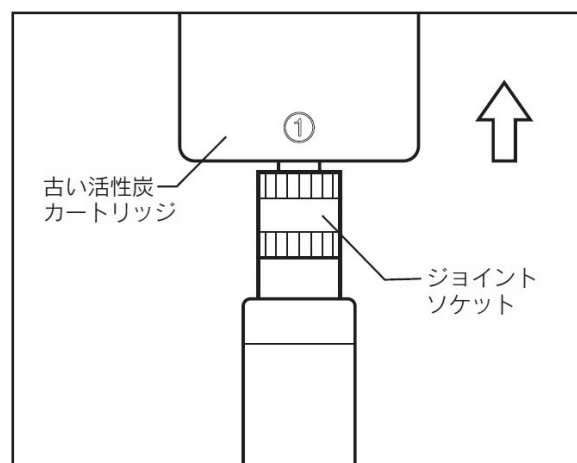
この他に交換する消耗部品がなければ、本体パネルを右側面、上面、前面の順に閉めてください。

活性炭カートリッジの交換

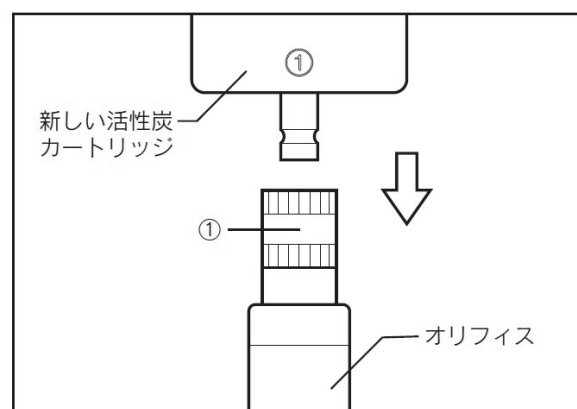
- ① 活性炭カートリッジの上に接続しているジョイントソケットを、黒い部分を下に押しながら、ジョイントソケット自体を上へ引っ張って外してください。



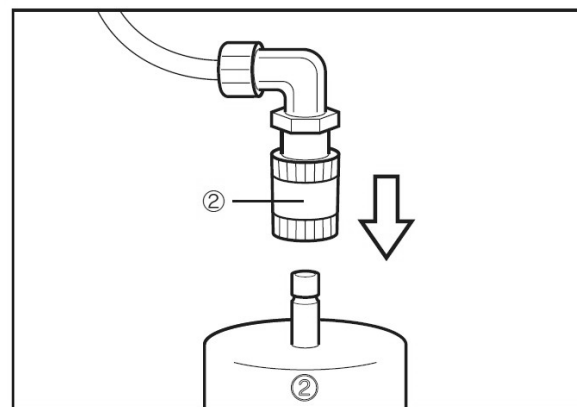
- ② 古い活性炭カートリッジを、下に接続しているジョイントソケットの黒い部分を上に上げながら、上に引っ張って外してください。



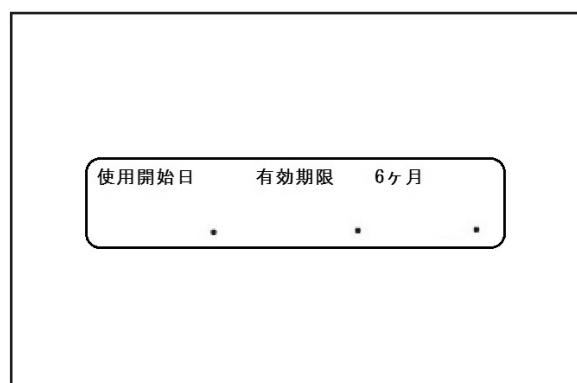
- ③ 新しい活性炭カートリッジを準備して、下側のプラグ①を、オリフィスの上に、ジョイントソケット①が「カチッ」と音がするまで差し込みます。



- ④ 活性炭カートリッジの上側のプラグ②に、樹脂筒の左下から出ているチューブ(排水側と逆のチューブ)の先のジョイントソケット②を「カチッ」と音がするまで差し込みます。



- ⑤ 新しい活性炭カートリッジに貼り付けてある、交換時期の目安のためのシールに、使用開始日を記入してください。

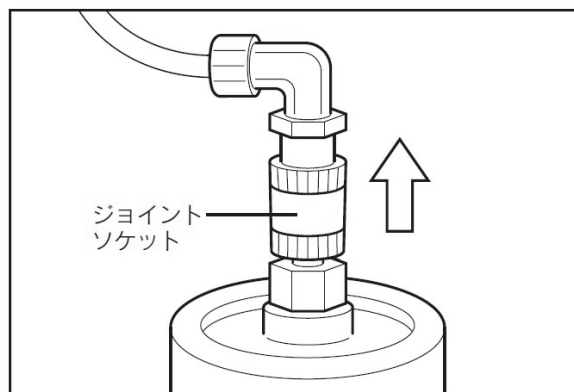


- ⑥ 排水ホースのピンチコックを閉じます。

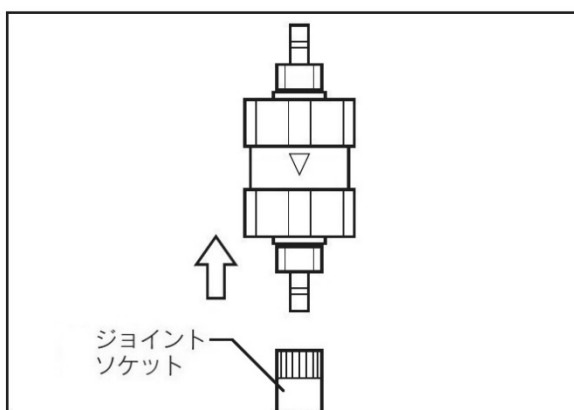
この他に交換する消耗部品がなければ、本体パネルを右側面、上面、前面の順に閉めてください。

中空系フィルターの交換

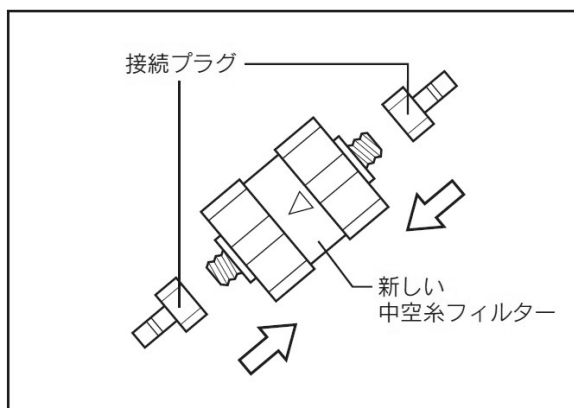
- ① 中空系フィルターの上に接続しているジョイントソケットを、黒い部分を下に押しながら、ジョイントソケット自体を上引っ張って外してください。



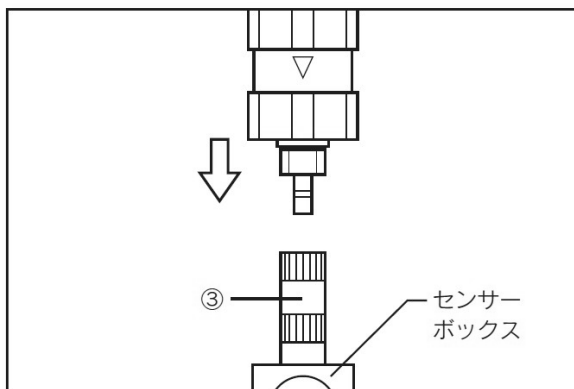
- ② 古い中空系フィルターを、下に接続しているジョイントソケットの黒い部分を上に上げながら、上に引っ張って外してください。



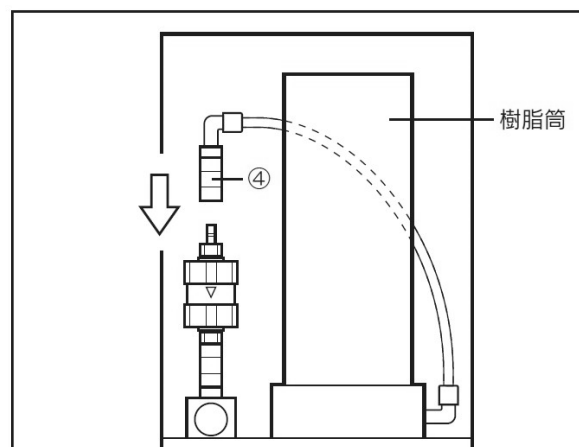
- ③ 古い中空系フィルターから、接続プラグ 2 個を外し（接続プラグの内側に O リングが入っていることを確認してください）、新しい中空系フィルターの上下にしっかりと取り付けます。



- ④ 中空系フィルターを矢印が下向き（▽）になるように取り付けます。
センサーボックスの上のジョイントソケット③に、中空系フィルターの下側の接続プラグを「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



- ⑤ 中空糸フィルターの上側の接続プラグに、樹脂筒の右下から出ているチューブの先のジョイントソケット④を「カチッ」と音がるまで差し込みます。



- ⑥ 排水ホースのピンチコックを閉じます。
この他に交換する消耗部品がなければ、本体パネルを右側面、上面、前面の順に閉めてください。

5.6 スペアパーツの交換

スパイラルホースとハンドシャワーの交換

本製品は、本体側面のホース継ぎ手のところから、スパイラルホースごとハンドシャワーを交換することができます。交換の際には、水道栓を閉めて、本体内に残っている水を排出し、電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。

【スペアパーツ】ハンドシャワー スパイラルホース付（品目コード 053200-005）



警告

スペアパーツを交換する前に、水道栓を閉め、本体内に残っている水を排出して、電源プラグをコンセントから抜く。

守らない場合、水漏れや機器破損などの原因となります。

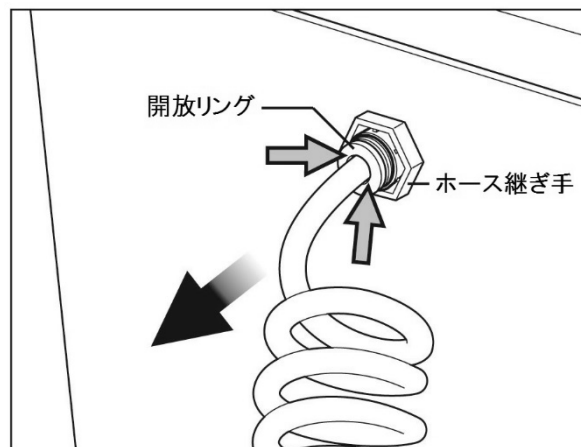


警告

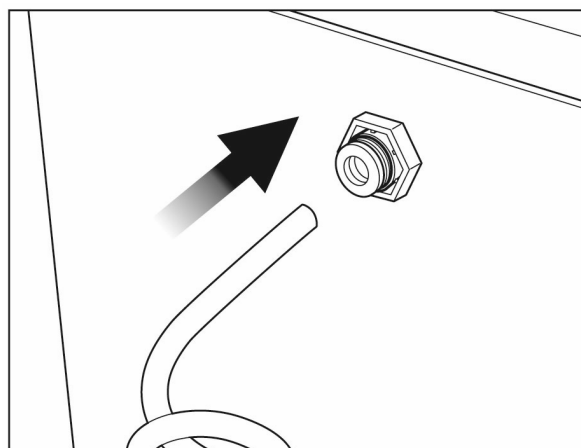
スパイラルホースの装着時には、ホースの切断面が直角に切断されていること、ホース外径にキズがないこと、及びホースが変形していないことを確認する。

守らない場合、水漏れの原因となります。

- ① スパイラルホースを取り外します。
ホース継ぎ手の開放リングを押しながらスパイラルホースを引き抜いてください。
このとき、スパイラルホース内部に残っている水が漏れる場合がありますのでご注意ください。



- ② 新しいスパイラルホースとハンドシャワーを装着します。
スパイラルホースを持ち、ホース継ぎ手の奥まで差し込んでください。差し込み後、スパイラルホースを引いて抜けないことを確認してください。



6 トラブルシューティング

本製品のご使用中に異常が発生したら、すみやかに使用を中止してください。異常の原因が故障のときは、再度使用せずに修理をご依頼ください。

場合によって、故障以外の原因で異常が発生していることもあります。修理をご依頼になる前に、以下の点についてご確認ください。



警告

使用中に異常が発生したら、ただちに使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

守らない場合、火災や感電・漏電などの原因となります。

症 状	原 因	処 置
CLEAN ランプが点灯しない。	電源プラグがコンセントから外れている。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	電源が供給されていない。または停電している。	電源を供給するか、電源復帰を待ってください。
	電源プラグ、または電源コードが破損している。	修理をご依頼ください。
	内部部品が故障している。	修理をご依頼ください。
CLEAN ランプの点灯色が緑色にならない（緑色の点滅または赤色の点灯）。	イオン交換樹脂が交換時期になった。	イオン交換樹脂を交換してください。
	内部部品が故障している。	修理をご依頼ください。
採水レバーを握っても、採水口から水が出ない。 または、出が悪い。	水道栓が閉まっている。	水道栓を開けてください。
	内部で水が漏れている。	各フィルターの接続箇所にも水漏れがないか確認してください。
	内部部品が故障している。	修理をご依頼ください。
	イオン交換樹脂が固まっている。	イオン交換樹脂を外し、横にして数回振ってください。

確認の結果、故障であると思われる場合は、ご自分で分解・修理なさらずに、お買い上げ販売店、または当社までご相談ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 品名／型式
- 使用していた状況
- 故障の状態
- 購入年月日
- シリアルナンバー

7 点検とお手入れ

本製品を安全にお使いいただき、性能をより長く保つために、定期的に、または使用前に点検とお手入れをおこなってください。



点検とお手入れの前に、水道栓を閉じ、本体内の水を排水して、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

守らない場合、感電や漏電などの原因となります。

■点検

●電源コード

使用前に、電源コードが損傷を受けていないか確認してください。損傷があるまま使用すると、感電や漏電などの原因となることがあります。

損傷があった場合は、使用を中止し、修理をご依頼ください。

●本体・各部品

使用前に、本体や部品が変形または破損していないか確認してください。異常があるまま使用すると、ケガや事故の原因となることがあります。

変形や破損があった場合は、使用せずに修理をご依頼ください。

また、消耗部品の交換時期についても、常に確認をおこなってください。

●ホースの接続

使用開始前に、ホースの接続が外れていたり、緩んだりしていないか確認してください。外れたり、緩んでいたりすると、水漏れや機器破損、周囲への被害などの原因となります。もしホースの接続が外れていたり、緩んだりしていたら、接続をやり直して、ホースバンド等で確実に締めつけるなどの処置をおこなってください。

また、ホースの屈折等、支障をきたす箇所についても点検し、発見したら修正してください。

■お手入れ

本体等の汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。汚れがひどいときは、布に中性洗剤を少量含ませて拭いてください。シンナーやベンジン、アルコール等は表面を痛めるため、絶対に使用しないでください。

8 主な仕様

型式		PP-102
性能	採水方法	活性炭カートリッジ → イオン交換樹脂 → 中空糸フィルター
	採水純水	イオン交換水
	採水量	0.5L/min
	水質	CLEAN ランプ緑点灯時：1 μ S/cm 以下
構成	水質表示	表示灯（CLEAN ランプ）
	イオン交換樹脂	カートリッジ型（混床式 1L、1 本）
	原水ろ過	活性炭カートリッジ
	最終ろ過	中空糸フィルター（0.1 μ m）
原水圧力範囲		0.15～0.5MPa
電源		AC100V 50/60Hz 20VA
寸法（突起含まず）		250（W）×255（D）×396（H）mm
質量		約 7 kg
品目コード		053200-03

注 1）本製品は防爆仕様ではありません。

注 2）本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

9 消耗部品とスペアパーツ

品目コード	品 名	備 考
053200-111	イオン交換樹脂 PP-101/PP-102 用	1 本入
053200-011A	イオン交換樹脂 PP-101/PP-102 用 3 本入	
053200-012	活性炭カートリッジ	1 個入
053200-013	中空糸フィルター	1 個入
053200-005	ハンドシャワー スパイラルホース付	



イオン交換樹脂を保管するときは、冷暗所で保管する。
高温環境下で保管すると、劣化することがあります。

10 保証書と修理について

■保証書について

本製品には、保証書が同梱されています。ご購入時に、記載内容をご確認のうえ、所定事項をご記入ください。保証期間は購入日より1年間です。

保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。



■保証期間内の修理は…

保証期間内は、保証書の記載内容にもとづいて修理いたします。詳しくは、記載内容をご確認のうえ、お買い上げ販売店、または当社にご相談ください。

修理を依頼される場合は、製品に必ず保証書を添付してください。保証対象であっても、保証書がないと有償修理になります。なお、製品に付属している消耗品は、保証対象外とさせていただきます。次の故障内容の場合、保証書の有無にかかわらず保証対象外となります。

- 使用方法の誤りによる故障および損傷
- 当社以外での修理・改造による故障および損傷
- 火災・地震・天災などの不可抗力による故障および損傷
- お買い上げ後の転送・移動・落下・振動などによる故障および損傷
- 当社指定以外の消耗品類に起因する故障および損傷
- 保証書にご購入年月日、ご購入先の記載がない場合、または記載事項を訂正された場合

■保証期間終了後の修理は…

保証期間終了後の修理については、お買い上げ販売店、または当社にご相談ください。

修理によって機能が維持でき、補修部品の確保が可能な場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

11 お問い合わせ

本製品につきまして、ご不明な点、ご用命などがございましたら、お手数ですが、お買い上げ販売店、または当社までお問い合わせください。

当社ホームページでもお問い合わせを受け付けておりますので、ご利用ください。



カスタマーサポートセンター（製品の技術的サポート専用）



0120-228-766 FAX 048-933-1590

フリーダイヤル

<http://www.sibata.co.jp>